社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金 令和03年11月18日

1145	TWOTEINTH	I A A T I II III III III											
計画の名称	賑わいを創出するスポ・	ーツ交流拠点の整備											
計画の期間	令和03年度 ~	令和06年度 (4年間)							重点配分対象の該当				
交付対象	藤枝市												
計画の目標	本市は、第6次藤枝市総	合計画において、サッカーを重要	な観光資源として位置づけ	ナ、サッカーを核としたスポ	ーツや文化、伝統を活用し	たまちづくり「蹴球都市の	いじえだ」の実現を	を目指している。					
	本整備により、利用者の快適性及びスポーツを通じて更なる交流人口の拡大を図り、地域経済への波及効果を創出する。												
	併せて、藤枝市地域防災計画で防災拠点として位置づけられている本公園の防災機能を強化していく。												
全体事業費	計(百万円) 合計(	( A + B + C + D )	1,410 A	1,410 B	0 C	0 D	0 交	カ果促進事業費の割合 C /	( A + B + C + D )	0 %			
·	<u> </u>						•						

		<u></u>		 指標)				
番号		定量的指標の現況値及び目標値						
	定量的指標の定	当初現況値	中間目標値	最終目標値				
						R3.11末		R7.3以降
1	既存施設の改修により藤枝総合運動公園の年間来園者数の増加を図る。							
	藤枝総合運動公園の年間来園者数を224,000人から400,000人にする。					224000人	人	400000人
2	既存施設の改修により物資受入機能の向上を図る。						L	
	物資備蓄数量を27,500食から110,000食に増加する。					27500食	食	110000食
	備考等	個別施設計画を含む -	国土強靱化を含む		定住自立圏を含む -	連携中枢都市圏を含む・	- 流域水循環計画を含む -	地域再生計画を含む -

		事業	地域	交付	直接				要素となる事業名	事業内容	市区町村名/	事業第	施期	間 ( 年度 )	全体事業費	費用	個別施設計画
基幹事業(大)	番号	種別	種別	1	間接		種別 1	種別 2 	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名						策定状況
, ,						 される効果	1	1	1								1
		備考															
都市公園・緑地等事	A12-001	公園	一般	藤枝市	直接	藤枝市	-	-	都市公園事業(総合運動	スポーツ交流拠点となる公園	藤枝市				1,410	2.83	策定済
Ě									公園サッカー場改修事業	施設の改修							
									)								
				1		1		1									
											小計				1,410		
						1		1	1								
											合計				1,410		
				1		1	-1		1		1						1
						1	-1		1		1						1
						1	1					1 1					1
						1	1					1 1					
			1	1	1	1	1	1	1	1	ı						1
				1		1	1	1	1		1						1

1 案件番号: 0000348972

## 交付金の執行状況

(単位:百万円)

					(単位:白万円)
	R3	R4	R5	R6	
配分額(a)	165	330	100	30	
計画別流用増△減額(b)	0	0	0	0	
交付額(c=a+b)	165	330	100	30	
前年度からの繰越額 (d)	0	165	330	15	
支払済額 (e)	0	165	415	45	
翌年度繰越額(f)	165	330	15	0	
うち未契約繰越額(g)	165	0	0	0	
不用額(h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越+不用率(h = (g+h)/(c+d)) %		0.00	0.00	0.00	
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合 その理由	年度末補正予算のため				

## 事前評価チェックシート

計画の名称: 賑わいを創出するスポーツ交流拠点の整備

事 前 評 価	チェック欄
」   I. 目標の妥当性	
基本方針・上位計画等との適合等 1)基本方針と適合している。	0
1.目標の妥当性	
基本方針・上位計画等との適合等 2)上位計画等と整合性が確保されている。	0
. 計画の効果・効率性     日標と指摘・物値日標の整合性が変化されている	
目標と事業内容の整合性等 1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	0
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	
	0
. 計画の効果・効率性   目標と事業内容の整合性等 3 ) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	
□ □ M C	0
11 :	
	0
. 計画の効果・効率性   事業の効果 2 ) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	
事業の効果 2 )他の事業との建携寺による相果効果・液及効果が持られるものとなりている。 	0
III.計画の実現可能性	
一円滑な事業執行の環境 1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	0
111.計画の実現可能性	
円滑な事業執行の環境 2)事業実施のための環境が整っている。	0

## 参考図面

